

もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

宮島安全登山祈願 1 月 5 日

京才会長ら 20 人参加

恒例の宮島安全登山祈願式が 1 月 5 日宮島であった。安全登山祈願には、京才会長、山田理事長はじめ役員、加盟団体代表など約 20 人が参加した。今年中の安全登山を祈願した後、各グループで弥山へ登り、そのご新年懇親会を行った。



自然保護コースについてガイドする山崎美和さん



厳島神社で安全登山を祈願する人たち

自然保護のための自然コース

厳島神社での安全祈願終了後、岳連役員、ひこばえの参加者は紅葉谷公園で宮島自然保護指導員の山崎美和さんから「自然保護のための宮島自然コースについて」お話を聞いた。

目次

宮島安全登山祈願 1 月 5 日	1
自然保護のための自然コースガイド	1
山岳マラソン連絡協議会開催	2
県下山岳マラソン大会別開催実績	2
第 20 回登山教室をおえて	2
雪山で遊ぶ	山本雅良 2
冬山の遭難防止について (長野県)	3
フォト俳句③④	江種幸男 3、4
山の風景 38	大杉溪谷にて森 智昭 4
俳句五題	富澤哲郎 4
加盟団体名簿・平成 26・2 事業計画予定	5
編集部より	5

山岳マラソン連絡協議会開催 11 月 30 日

2013 年 11 月 30 日、安芸太田町川・森・文化交流センターで広島県山岳マラソン連絡協議会が開かれた。

今回の会議は 4 回目で、関係 3 団体 8 名が出席し、今年度の実施状況と来年度大会について話し合った。広島岳連からは山田理事長と平田スカイラン事務局員が出席した。県内対象大会の成績をポイント化し、上位選手を選出し表彰する、「広島県山岳マラソンサーキット(案)」が検討されている。

大会別開催実績 2013

大会名・開催日 (本年開催予定)	出場者(完走) 完走率
第 21 回比婆山スカイラン 5・19 (2014・5・19)	902 名 (695) 77%
第 3 回三原・白竜湖トレイルラン 9・15 (2014・9・14)	ロング 318 名 (312) 98% ショート 379 名 (376) 99%
瀬戸内アイランドトレイル in 呉・上蒲刈島 3・31 (2014・3・30)	ロング 344 名 (342) 99% ショート 172 名 (172) 100%
可部連山トレイルラン in あさきた 6・2 (2014・6・1)	ロング 292 名 (272) 93% ショート 188 名 (168) 89%
第 11 回呉灰が峰・休山縦走大会 4・14 (2014・4・20)	A 93 名 B 55 名
第 4 回安芸太田しわいマラソン 2013 9・15 (2014・9・14)	468 名 (371) 80%

第 20 回 登山教室をおえて

第 20 回 12/14 (土) ~15 (日) 登山形態：雪山講習

山城：大山 (鳥取) 人数：8 名 (スタッフ含)

雪上歩行の練習

第 19 回から 22 回までの登山教室は全て大山に行こうという雪山カリキュラム。19 回はピーカンの雪山を夏道で弥山と三鉢峰に登り地形の確認を済ませました。20 回は雪上歩行の練習ということで、少し冬山っぽくなってきた天気の中、踏み跡の無い新雪とクラストした部分を求めて少しウロウロしてみました。(指導部 森本 覚)

写真提供森本 覚



「雪山で遊ぶ」(大山)

登山教室 山本 雅良

今回の登山教室のテーマは「雪山で遊ぶ」でした。初日はまず、大山寺から大神神社を経て元谷避難小屋。林道が終わり堰堤に出た途端、剣ヶ峰から吹き降ろす強烈な吹雪で一瞬怯んだが、おっとどっこい、これくらいの風なら先日の剣での身動きできぬ暴風のほうがすごかった、と思うと、何の事はない。吹き付ける雪も、穂高縦走でのあの突き刺すような冷たい水滴に比べればまだ我慢できる。

元谷小屋に着いてから、バラクラバ、ゴーグル、オーバー手袋、ピッケルの装着。吹雪の中、弥山尾根に向かって進む。いつしか、吹雪でルートを誤ったか、途中で位置の確認をマップポインターで行う。どうやら、弥山

尾根を越して大屏風の下に向かっていているようだ。バケツを掘って休憩の後、少し引き返し、大屏風小屏風の間地点を登り始める。標高が1300m近くなると、傾斜がきつい上に、突然足元が凍って来て、滑りやすくなる。ここでアイゼンの装着。インストラクターの方々は、慣れたものだが、我々生徒はもったらもったらと遅い。

アイゼンを付けて少し登ると、斜度が35度を超えてきたので、雪崩落石を避け撤退。到達地点は、GPSで見ると、ほとんどエボシ岩の左下30m。登りは2時間半も掛かったが、元谷小屋への下りは35分だった。

スノーシューに道、譲る

(2日目)

この日は、前日と打って変わって、時折青空も見える穏やかな天候。香取から大休峠へのコースは、非常に緩やかで素晴らしいハイキングコース。前方には木が枝垂れて道を塞いでいるが、雪を振り払ってやると、たいていは起き上がって、開けごま！状態。ラッセルも段々きつくなってきたその時、後ろからスノーシューの別パーティーが追いついてきたので、先に歩いてもらう。昨日も今日もツボ足だったが、スノーシューを見るとよだれが出てきた。このルートの緩斜面はスノーシューが合っている。

途中で甲ヶ山の素晴らしい岩峰が見え、しばし見とれる。駐車場から2時間30分で大休峠に到着。来月はこの付近で雪洞を作る予定。下りは1時間25分でした。

フォト俳句 ③

あの峰を 越せば友待つ 雪の小屋

俳句・写真 江草幸男



冬山の遭難防止について(依頼) 12月19日

都道府県山岳協会(連盟)会長様

長野県山岳遭難防止対策協会会長

(長野県知事阿部守二)

冬山シーズンを迎え、多数の登山者が当県の山岳に入山することが予想されますが、長野県では遭難件数、遭難者数ともに3年連続で過去最多を記録し、本年も12月1日までに発生した遭難件数は293件、遭難者は312人にのぼり、過去最多を記録した昨年1年間を既に上回る深刻な事態となっています。

特に、冬山登山は、低温、積雪等の厳しい自然条件のもとで、遭難発生時の致死率が高く、高度な登山技術と装備、鍛練された体力、さらに綿密な計画と組織的な行動が要求されるところであります。

こうした状況を踏まえ、当協会では、登山者に対する指導活動等冬山登山の遭難防止対策に万全を期しているところでありますが、貴職におかれましても下記により、冬山の安全登山について広く御指導くださいますようお願い申し上げます。

記

1 適切な登山計画と無謀登山の自粛について：

冬山の厳しい自然条件を踏まえ、パーティーの技術、体力、経験等を考慮して無理ない計画により、無謀な登山を慎むよう下記により指導願います。

(1)登山計画は責任の持てるリーダーを中心に、参加者全員で検討を行うなど、計画の周知を図るほか、予備日、停滞日を考慮した余裕のある日程とすること。

(2)冬山では、装備品の欠陥は直ちに遭難に結びつくことから、アイゼン、ビッケル、リコンロ、ビーコン等の装備品について事前点検を行うとともに、使用方法等を熟知しておくこと。

(3)単独登山は、遭難しても救助を求めることができない等危険が大きいため、できる限り慎むこと。

(4) 万一遭、難が発生した場合には、自力救助及び所属山岳会等への連絡体制を確保しておくこと。

2 危険性の高い山域に対する注意喚起

冬山は気象条件等を考慮すると、そのほとんどが危険区域となります。特に本県では、遭難が多発している場所については、技術に優れ、豊富な経験と完全な装備を備えたパーティの他は入山しないよう指導してください。

3 山岳情報について別途配布します当県山岳の「冬山情報」を、登山計画立案時の指導等に活用願います。

また、入山時には直前の山岳状況を確認するよう指導するほか、次の事項について指導してください。

なお、県下全域の山岳情報については長野県警察本部地域部地域課 TEL 0 2 6(235)36H

または長野県警ホームページにおいて情報を更新しています。

(1) 登山口や近くの JR 駅等に登山相談所が開設されている場合は、入山時は必ず立寄り、登山道や積雪などの山岳状況を確認してから入山すること。

(2) 下山した場合は、登山相談所等に登山コースの積雪状況等を連絡し、より正確な相談活動が出来るよう協力すること。

4 山岳保険への加入について

遭難者の捜索、救助活動には、多くの人員と多額の費用がかかる場合がありますので、山岳保険に加入してから登山するよう指導してください。

5 登山計画書(登山者届)の提出の徹底について

登山計画は、家族や職場に「登山計画書」として必ず知らせておくほか、入山地を所轄する警察署にも提出のうえ、入山するよう指導してください。

なお、所轄警察署が不明な場合は長野県警察本部地域課(〒380-8510 長野市南長野長野県庁内)に送付するよう指導してください。

また、登山計画書を送付したパーティも入山時に必ず登山相談所(駅又は登山口附近に開設)に立ち寄り、最新の山岳情報を得て入山するよう指導してください。

6 通信連絡の確保について

冬山は殆どの小屋が閉鎖されていますので、通信確保の手段として無線機等を携行し、万一の場合に備えるよう指導してください。

なお、携帯電話は不感地域が多いこと、寒冷により電池寿命が短くなることから、予備電池の携行や無線機等との併用を指導してください。

長野県山岳遭難防止対策協会防止対策部(長野県教育委員会事務局スポーツ課内)部長: 茅野繁巳担当: 矢野萌子
電話 026(235)7447 FAX 026(235)7476

E-mail sports-ka@pref.nagano.lg.jp

山の風景 38

三重県 大杉溪谷にて

2013・6・9 写真提供 森 智昭



俳句五題

富澤哲郎 (岳連参与)

山頂でこごえる手合す初日出
初日出万才の声期せずして

山仲間鍋持参の初詣

新年に弥山に登り盃をあげ
初登山傘寿ながら足軽し

一般社団 広島県山岳連盟加盟団体名簿

2013・10・18 (団体名・事務局所在地・代表者名)

広島山岳会	広島市安佐北区	久保信義
広島山稜会	広島市安佐北区	広田忠彦
広島市役所山岳部	広島市西区	池庄司幸臣
広島やまびこ会	東広島市八本松	清水欣三
パブコック日立呉営業所日立会山岳部	呉市平本光則	
竹原山岳会	竹原市竹原町	日向輝武
可部山岳会	広島市安佐北区	小林敏行
福山山岳会	福山市北本庄	綿谷弘志
広島県庁山の会	大竹市新町	菊間秀樹
マツダ親和会山岳部	広島市安芸区	岩本 朗
広島大学山の会	広島市東区	加賀谷健一
広島県高体連登山部	広島市佐伯区	福永輝彦
広島修道大学山岳会	広島市中区	兼森志郎
福山市役所 山岳会	福山市神辺町	榎本哲哉
三原山の会	三原市港町	正畑良樹
タンネンクラブ	広島市西区	木村 寛
(社) 日本山岳会広島支部	広島市南区	兼森志郎
東広島山の会	東広島市黒瀬町	福永やす子
登山教室同窓会「ひこばえ」	広島市佐伯区	森智昭
山を歩く会・庄原	庄原市三日市町	宇山茂之
広島大学体育会ワンダーフォーゲル部	東広島市	
		田辺 朗
広島三峰会	広島市東区	小方重明
白木愛山会	広島市南区	宇根正経
岳友クラブ	福山市赤坂町	坂本豊
宮島太郎の会	広島市西区	山本拓志
広島パイオニアクラブ	広島市南区	堀内輝章
登山教室同好会「DAT」	広島市安佐南区	前原俊光
広島登山研究所	広島市西区	松島 宏
CERO クライミングクラブ	安芸郡府中町	佐藤 建
FCC「C・S同好会」	広島市西区	新田 昇
		以上 30 団体

平成 25 年度 事業計画 (案)

平成 26 年 2 月

詳細は事務局まで問合わせください

- 2・8 (土) ~9 (日) 事業部例会山行・山岳レスキュー研修会 (積雪期) 比婆山
- 2・8 (土) ~9 (日) 高体連県新人大会 (もみのき森林公園)
- 2・11 (祝) 広島県スポーツ指導者研修会 (国際会議場)
- 2・12 (水) 第 11 回運営委員会
- 2・12(水)ビギナーズブレッソン (県立総合体育館)
- 2・15(土)~16 (日) 日山協氷雪技術検定養成講習会 (大山)
- 2・18 (火) 高体連理事会②
- 2・19 (水) 岳連例会山行・曾場ヶ城・水ヶ丸山 (東広島市)
- 2・19 (水) 机上講習会 (登山のためのロープワーク・森本)
- 2・22 (土) ~23 (日) 登山教室・大山 (登頂)
- 2・26 (水) 第 3 回理事会・岳連事務所

フォト俳句④

首筋に雪浴びて知る運不運

俳句・写真 江種幸男



編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行いたします。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○訂正 もみじ 122 号 1 頁左 24 行

誤	渡谷弘志	正	綿谷弘志
題字デザイン		今村みずほ	編集 仲井正美